

180

第4問

2次関数

$$f(x) = x^2 + 6ax + 6a^2 - 5a - 2$$

について、方程式 $f(x) = 0$ を考える。ただし a は実数の定数とする。

(1) 方程式 $f(x) = 0$ が解 $x = 1$ をもつとき、 $a = \frac{\text{アイ}}{\text{ウ}}$, $\frac{\text{エ}}{\text{オ}}$ である。

$a = \frac{\text{アイ}}{\text{ウ}}$ のとき、方程式 $f(x) = 0$ の他の解は $x = \text{カ}$

$a = \frac{\text{エ}}{\text{オ}}$ のとき、方程式 $f(x) = 0$ の他の解は $x = \text{キク}$

である。

(2) 方程式 $f(x) = 0$ がただ一つの実数解をもつとき、 $a = \frac{\text{ケコ}}$, $\frac{\text{サシ}}{\text{ス}}$

である。

$a = \frac{\text{ケコ}}$ のとき、方程式 $f(x) = 0$ の解は $x = \text{セ}$

$a = \frac{\text{サシ}}{\text{ス}}$ のとき、方程式 $f(x) = 0$ の解は $x = \text{ソ}$

である。

問題6

15

誤

180

第4問

2次関数

$$f(x) = x^2 + 6ax + 6a^2 - 5a - 2$$

について、方程式 $f(x) = 0$ を考える。ただし a は実数の定数とする。

(1) 方程式 $f(x) = 0$ が解 $x = 1$ をもつとき、 $a = \frac{\text{アイ}}{\text{ウ}}$, $\frac{\text{エ}}{\text{オ}}$ である。

$a = \frac{\text{アイ}}{\text{ウ}}$ のとき、方程式 $f(x) = 0$ の他の解は $x = \text{カ}$

$a = \frac{\text{エ}}{\text{オ}}$ のとき、方程式 $f(x) = 0$ の他の解は $x = \text{キク}$

である。

(2) 方程式 $f(x) = 0$ がただ一つの実数解をもつとき、 $a = \frac{\text{ケコ}}$, $\frac{\text{サシ}}{\text{ス}}$

である。

$a = \frac{\text{ケコ}}$ のとき、方程式 $f(x) = 0$ の解は $x = \text{セ}$

$a = \frac{\text{サシ}}{\text{ス}}$ のとき、方程式 $f(x) = 0$ の解は $x = \text{ソ}$

である。

(3) 方程式 $f(x) = 0$ が異なる二つの実数解をもち、そのどちらも1より大きくなるような a の値の範囲は

$$a < \frac{\text{タチ}}{\text{ト}}, \frac{\text{ツテ}}{\text{ト}} < a < \frac{\text{ナニ}}{\text{ヌ}}$$

である。

(4) 方程式 $f(x) = 0$ が、 $x > 1$ を満たす実数解を少なくとも一つもつような a の値の範囲は

$$a \leq \frac{\text{ネノ}}{\text{フ}}, \frac{\text{ハヒ}}{\text{フ}} \leq a < \frac{\text{ヘ}}{\text{ホ}}$$

である。

問題6

13

正 P180 拡大

第4問

2次関数

$$f(x) = x^2 + 6ax + 6a^2 - 5a - 2$$

について、方程式 $f(x) = 0$ を考える。ただし a は実数の定数とする。

(1) 方程式 $f(x) = 0$ が解 $x = 1$ をもつとき、 $a = \frac{\text{アイ}}{\text{ウ}}$, $\frac{\text{エ}}{\text{オ}}$ である。

$a = \frac{\text{アイ}}{\text{ウ}}$ のとき、方程式 $f(x) = 0$ の他の解は $x = \text{カ}$

$a = \frac{\text{エ}}{\text{オ}}$ のとき、方程式 $f(x) = 0$ の他の解は $x = \text{キク}$

である。

(2) 方程式 $f(x) = 0$ がただ一つの実数解をもつとき、 $a = \frac{\text{ケコ}}$, $\frac{\text{サシ}}{\text{ス}}$

である。

$a = \frac{\text{ケコ}}$ のとき、方程式 $f(x) = 0$ の解は $x = \text{セ}$

$a = \frac{\text{サシ}}{\text{ス}}$ のとき、方程式 $f(x) = 0$ の解は $x = \text{ソ}$

である。

(3) 方程式 $f(x) = 0$ が異なる二つの実数解をもち、そのどちらも1より大きくなるような a の値の範囲は

$$a < \frac{\text{タチ}}{\text{ト}}, \frac{\text{ツテ}}{\text{ト}} < a < \frac{\text{ナニ}}{\text{ヌ}}$$

である。

(4) 方程式 $f(x) = 0$ が、 $x > 1$ を満たす実数解を少なくとも一つもつような a の値の範囲は

$$a \leq \frac{\text{ネノ}}{\text{フ}}, \frac{\text{ハヒ}}{\text{フ}} \leq a < \frac{\text{ヘ}}{\text{ホ}}$$

である。